

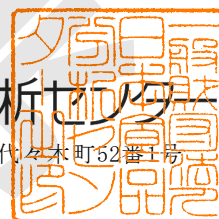
# 試験報告書

依頼者 株式会社 メイプル・リンク

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 セントラル浄水器ソリューヴ SH-MV型

表題 PFOA及びPFOS除去性能試験

2020 年 07 月 27 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

## PFOA及びPFOS除去性能試験

## 1 依頼者

株式会社 メイプル・リンク

## 2 検体

セントラル浄水器ソリューヴ SH-MV型

## 3 試験概要

検体に、パーフルオロオクタン酸(以下「PFOA」という。)及びパーフルオロオクタンスルホン酸(以下「PFOS」という。)をそれぞれ約50 ng/L, 合計濃度として約100 ng/Lとなるように調製した原水を通水し, 得られた通過水及び原水についてPFOA及びPFOSを測定した。

なお, PFOSは異性体を含めて定量した。

## 4 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 PFOA及びPFOS除去性能試験結果

通過水量	動水圧 (MPa)	水温 (°C)	分析試験項目	結果 (ng/L)		除去率 (%)
				通過水	原水	
10分間通水後	0.02	21	PFOA	検出せず	52	99以上
			PFOS	検出せず	60	99以上

定量下限 : 0.3 ng/L

## 5 試験条件

水 : 水道水(東京都多摩市)  
水の処理 : 活性炭 PMC250-200[株式会社クラレ]  
中空糸膜 ステラポア-PK0型[三菱ケミカル株式会社]  
原水の設定 : 目標濃度 PFOA及びPFOS 各50 ng/L(合計100 ng/L)  
水温 20 °C ± 3 °C  
通水条件 : ろ過流量 9.2 L/min  
測定方法 : 液体クロマトグラフィー質量分析法

## 6 除去率の算出

次式により算出した。

$$\text{除去率(\%)} = \frac{\text{原水測定値} - \text{通過水測定値}^*}{\text{原水測定値}} \times 100$$

\* 定量下限未満の場合は、定量下限値を使用。

以 上